

わたしがわたしになる学校

令和3年7月20日 発行責任者 校長 竹下 比登美



一学期終業式～本当の強さとは～

学校長が、一学期終業式に、「本当の強さとは何か」について話をしました。

今日は1学期終業式です。この1学期、学校に来られたということ、昨年を思い出してください。4月、5月とコロナで休校でしたよね。それを思えば学校に来られたという当たり前のことも、とても価値あることです。さて、今日はこの夏休みに心にとめておいてほしい「強い子」というお話をします。

私はある日一枚の写真を目にしました。それは、一人の難病の女の子の写真でした。その子の姿は、頭や体のあちこちに器具が取り付けられ、見るに堪えないような姿でした。彼女の病気は、進行性のため、1年に1回か2回は大きな手術をするのです。それがうまくいかなければ、命を落とすこともあるそうです。お母さんは、彼女を見ると、いつも「何でうちの娘だけが、こんな姿にならなければいけないの？」と泣き崩れていました。彼女は、お母さんを元気づけるために、いつも笑顔でお母さんを迎えるようになりました。そのうちに、お母さんはどんどんやせ細り、ただ泣いているようになりました。その姿を見かねて彼女はお母さんが来るとウソをつくようになったのです。「痛いでしょう？」と聞かれると「痛くない」と笑顔で言うのです。しかし、お母さんが帰ると「痛い、痛い」と泣き出すのです。「夜も寝られないでしょう？」と聞かれれば、「よく寝られるよ」というのですが、彼女の病室からは一晩中うめき声が続いています。また、彼女は童話が大好きで、毎日読んでいました。そのうちに自分でも童話を作るようになりました。それは、すべてお母さんを元気づけるお話ばかりでした。その中に、「強い子」というお話があります。

彼女が生まれる前のお話です。ある日彼女は神様に呼ばれました。神様のところに行くと、すでにたくさんの赤ちゃんたちが並んで待っていました。そして、一人一人が神様からプレゼントをもらっているのです。「この町に生まれたい」と言えばその町に生んでくれます。「お金持ちの家に生まれたい」と言えば、その家に生んでくれます。どんな夢でもかなえてくれるのです。そして、とうとう彼女の番になりました。しかし、その時彼女は自分が欲しいプレゼントが決まっていませんでした。ふと見ると、神様の後ろに「重い病気」というプレゼントがあるのを見つけるのです。彼女は神様に「これは誰がもらえるの？」と聞きました。すると、神様は「これがもらえるのは、一番強い子だよ。なぜなら、このプレゼントをもらった子は、生きている間はずっと苦しむことになるから」と。その時、彼女はこう思ったのです。「もし、自分以外の子がこのプレゼントをもらって生まれてきたとしたら、自分がその子に会った時にとってもつらい気持ちになるだろうな」そして、彼女は神様にお願ひしました。「私が一番強い子よ。他の子には、絶対あげないで。私なら耐えてみせる。他の子が苦しむのは絶対に嫌だから、そのプレゼントは私にください」とすると、神様が、「君が一番強い子だね。ならば、あげよう。君が来るのをずっと待っていたんだよ」と彼女に言いました。すべての人に、生まれてきた理由があります。私たちが生まれてきたのは必要な存在だからなのです。

「あなたが生まれた理由は何でしょう?」「本当の強さとは何でしょう?」

あなた方一人一人には生まれてきた理由があります。だれも要らない人はいないのです。だから、自分の欠点も含めてまると愛する自分でいてほしいのです。自分をまると愛するとは、自分を人と比べてダメな人間だと思わないこと、自分の目標を持つことです。本当の強さとは、人のことも大切にできること、みんなが同じじゃないということを知ることです。そして、もっと深く分かり合うためには、相手の思いを聞き、自分の思いを伝えるために言葉を磨くことが必要です。言葉を磨くためにはやはり読書です。この夏休みたくさん本を読んでみてください。そして二学期もみんなで質の高い学びを目指して協力していきましょう。



4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



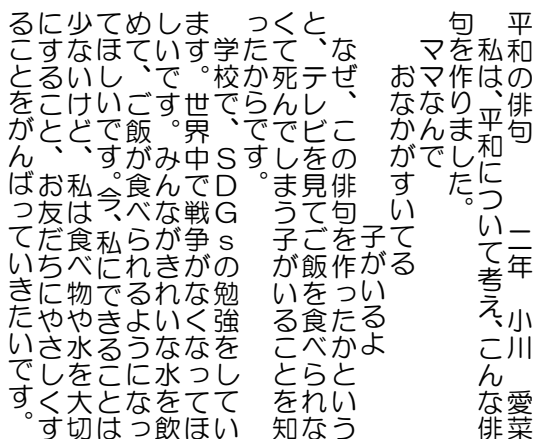
児童代表の言葉～一学期にがんばってきたこと～

3年 後藤 愛蓮

また、一学期は、習字の時間、思うようにうまく書くことができませんでした。二学期、お手本をしっかりと見ながら、上手に書くためのポイントをよく考え、自分で納得のいく字が書けるように習字もがんばってみようと思います。



今日、1年生から6年生の代表が自分の言葉で平和についてのメッセージを発表してくれました。いつも自分の命と他者の命に敏感であること、感性を磨いて自分の言葉で戦争と平和について語れること、それがこれからの私たちに求められています。今日は一人一人が戦争と平和について考える一日にしましょう。



平和ってどんなこと
一年 池田 美春
私は、戦争は大事な命がなくなっ
てしまふから、いけないと思ひまし
た。戦争はもうぜったいに起こつて
ほしくないです。平和つて、きれいな
やさしい心だからいいなと思ひまし
た。私は、みんながなかよくしたり、
いじわるをしてしまつたら、ちゃん
とあやまつたりすることが平和につ
ながると思ひます。
私は、お友だちとけんかをせず
なかよくしたいです。

やさしい世界に
三年 五升目 唯菜
戦争は人を傷つける。
人の命をうばうもの。
悲しみと苦しみがまざって
いる。
平和は人を傷つけず
人の命を大切にします。
明るく楽しい日々。
何気ない日々。
平和の音がずっといい。
けんかをしたらときは、
おたがいを傷つけあわず、
相手のことを考え、
すぐに仲直りをしたい。
命に感じやし、家族、友だち、
自分を大切にしたい。
思いやりの気持ちを持ち、
相手のいいところを見つけ、
やさしい世界にしたい。

私は、国語の時間に平和につ
いて自分が思うことを言葉に表
しました。私が思っていた言葉
は「青空」という言葉です。な
ぜかという、戦争中ではてき
飛行機が飛んできて広々とした
青空は平和の象徴のように思
いました。そこで、私は広い青空
という言葉を使って詩を書きま
した。行の頭の字に『ひ・ろ・
い・あ・お・そ・ら』という字
を使っています。

平和
四年 ヴ・フォン ジャン
ひろしま大好き
ろめん電車に乗って
いたずらしながら
「あつ」とさげび
おそろに見上げて
その形の雲「見つけ」
らんらんらん
この毎日つづくといいな。
平和のために私もできること
をしていこうと思います。

平和の音 五年 林 朱菜
私たちは「平和の音」を
聞いている
周りの人の笑い声
ザザザと風の音
車やバイクのエンジン音
ふつうに聞こえるこれらの音
全部全部平和の音
かすかな音が聞こえてる
鳥やセミの鳴き声
周りの人が笑ってる
つられて私も笑ってる
何気ない日常にある平和の音
それが聞けるだけで
私たちは本当に恵まれている
「どうやってたら
平和を続けていけるの？」
「どうすれば
戦争がなくなるの？」
その答えは
…今を大切にすればいい
今、できることを
今、自分にできることを
「どうやって？」
「どんなことを？」
平和な、かすかな音や
戦争について学んだことを
弟や妹など
戦争について
学んでいない子たちに
伝えていくこと
大切なことは平和を未来へ
つなげていくこと
戦争を知らない人々に
つなげていくこと
八月六日の鐘の音を毎年聞き
平和について考えること
それが私たちにできること
私はこれからも聞き続けたい
平和の音を

平和な世界を目指して
六年 坊田 彩佳
もうすぐ八月六日です。昔、広島に原ば
くが落とされたんだな、たくさん人の命
が一瞬でなくなっただんなということは分
かっていましたが、遠い昔の出来事の方
にとらえていました。

七月に入り、道徳の授業で「白旗の少女」
という教材で学習をしました。これは、沖
縄を戦場とした沖縄戦の話です。当時七才
だった富子さんはぼうくうごうで出会った
やさしいおじいさん、おばあさんに白旗
を作ってもらって、命を助けてもらいまし
た。その白い旗を持ってぼうくうごうから
出ていったところをアメリカのカメラマン
にとられました。これがその写真です。み
なさん、見たことはありますか？

私は七才で一人ぼっちになった富子さん
はあまりじょうきようが分かっていなかった
たかも知れませんが、きつとさみしかった
り、不安だったりのかなと思っていました。
私がこの授業で一番心に残ったことは、
富子さんが四十三年ぶりにアメリカのカメ
ラマンと再会して思った「これで私の沖縄
戦が終わったわけではない。あんな不幸な
できごとをくり返さないために、あの体
験を語りつがなければ」というところで
す。なぜかという、戦争で富子さんもと
てもつらい思いをしているのに、それを語
りつがなければという前向きな気持ちがす
ごいと思っただけです。

私は戦争や原爆は遠い昔のことだと思
っていました。しかし、そうではなく、平
和な世界は私たち自身がつくっていくかな
ければいけないと思いました。
私が平和な世界をつくるために今私たち
にできることはなんだろうと考えました。
それは、毎日の授業でしっかりと考えたり、
友だちの意見を受け入れたりしながら、人
の気持ちを考えられる力をつけることだと
考えました。今できることを私たちみんな
でがんばっていきましよう。

家庭でも根っこ育て～夏の体づくりは骨づくりから～

子供の骨が弱くなっていると感じたことはありませんか。独立行政
法人日本スポーツ振興センターが行った調査によると子供の骨折は
30年前に比べて約1.5倍にも増えているそうです。丈夫な骨をつ
くるためにはカルシウムをとるとよいのですが、カルシウムを体へ吸
収しやすくするには、青魚を食べたり日光を浴びたりして体につくら
れるビタミンDや海藻・緑黄色野菜等で採れるビタミンKが必要です。
また、強い骨をつくるには運動も必要です。運動をして骨に負荷をかけ
ると、それが刺激となって骨の強化を促進します。また、睡眠中分
泌される成長ホルモンは骨を強く成長させる役割があるため、子供の
頃からしっかりと睡眠時間を確保し、その分泌を促すことが大切です。
生活の中の食事・運動・睡眠を整えて丈夫な骨＝体をつくりましよう。

強い骨をつくるために

- ①カルシウム、ビタミンDやKをしっかり摂取する
 - ②適度な日光浴、運動や外遊びで骨に刺激を与える
 - ③十分な睡眠時間を確保して、成長ホルモンの分泌を促す
- 食事・運動・睡眠**

ありがとうございます！府小っ子のために

地域の方から、子供たちに使ってほしいと英語の絵
本の寄付がありました。現在、府中小学校にはイングリ
ッシュルームがあり、国際理解に関わる掲示を行っ
たり図書などを置いたりしています。この絵本もイン
グリッシュルームに置いて活用していきます。



さわやか挨拶運動で～100回会ったら100回挨拶～

昨年度に引き続き、今年度も保護者の有志の方が門に立って挨拶をしたりぐんぐんカードを配付したりしてください。7月の「さわやか挨拶運動」では、4人のお父さんお母さんが参加してくださいました。「元気のよい挨拶をたくさんしてもらいました。」「ぐんぐんカードを配ると子供たちはとても喜んでくれるのですね。」などの感想をいただきました。参加してみて子供たちの様子がよく分かったともおっしゃっていました。4人のお父さんお母さんが大きな挨拶で「子供たちのお手本」になってくださっているのがとても心強かったです。

府中小学校はたくさんの方にお力をいただいています。引き続きよろしくお願いします。



読み聞かせボランティア「ひだまり」の活動

コロナウイルス感染症対策でスタートを遅らせていた読み聞かせボランティア「ひだまり」の活動が7月2日（金）にスタートしました。初回は1・2年生。特に、1年生は保護者・地域の方に読んでいただく読み聞かせは初めてで、大喜び。身を乗り出して熱心に聞き入りました。1学期は回数が少なく、残念でしたが、2学期も楽しみにしています。これからもよろしくお願いします。



～子供たちの感想より～
○お話がおもしろかったです。
○こんな本があるんだなあと思いました。
○絵本の中のやおやのおじさんはやさしいなと思いました。

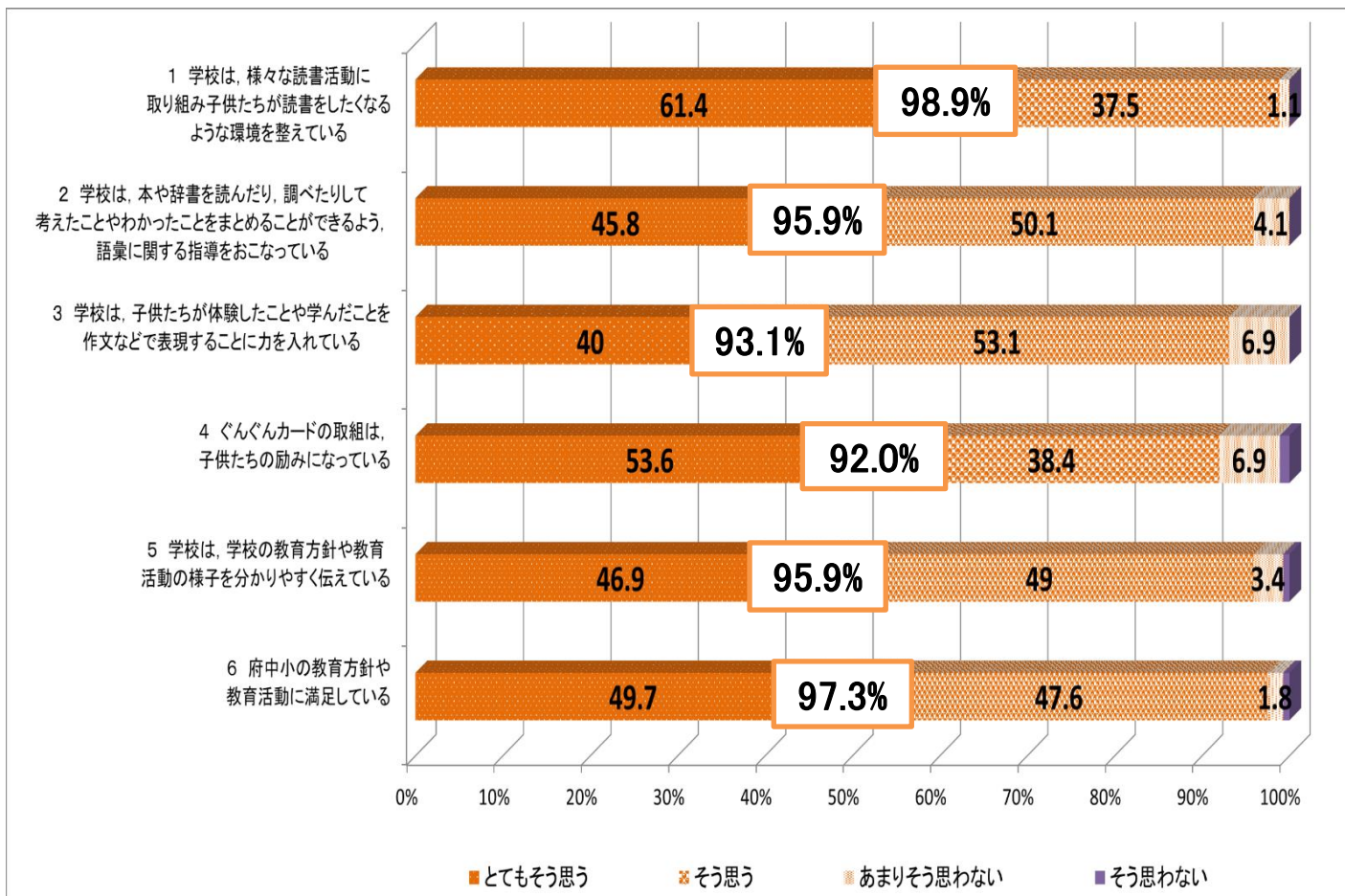
府小っ子応援校舎外壁掃除ボランティア

中央校舎の外壁が雨風にさらされ汚れてきていたことから、校舎外壁掃除ボランティアを募集したところ、11名も参加を希望してくださいました。残念ながら7月10日（土）は雨天の予報のため中止にしましたが、7月13日（火）7月16日（金）に参加してくださいましたお父さん方が、中庭のウッドデッキや外壁を高圧洗浄機でピカピカにしてくださいました。これまでは濡れるとツルツル滑って危険だったウッドデッキも、もう大丈夫です。高い所についていた汚れも落としていただき、まるで新品のようになりました。暑い中、我が子を通う学校のためにお掃除をしてくださり本当にありがとうございました。



学校の取組に対する評価アンケート結果について

7月10日（土）は1学期の学習や生活の様子をお伝えする保護者懇談会でした。その際、ご協力いただいた学校評価アンケートの結果についてお知らせします。



学校評価の全ての項目について90%以上の高い肯定的評価をいただきました。特に「読書活動」に関わる項目1、「府中小の教育方針・教育活動への満足度」に関わる項目6、「語彙力の向上」に関わる項目2、「情報発信」に関わる項目5の肯定的評価の割合が高く、府中小学校の目指す「根っこ育て」への理解が高まっていることを感じています。項目2では日頃から辞書や辞典で調べたり、言葉にこだわった授業を行ったりしている「語彙に関する指導」に対して一定の評価をいただきました。項目3は「表現力」に関わる項目です。作文等での「書く活動」は、俳句を始めとして詩、要約文、読書感想文、生活作文等の指導を継続しており、さらに自主学習ノートで充実させようとしています。項目4の「ぐんぐんカード」の取組は、委員会活動やPTA活動とも連動しており、これからも子供たちのよさを伸ばし、子供たちの励みになるよう取組をすすめていこうとしているところです。項目5・項目6に関しては、保護者の方から、「学校日より、学年日よりなど、普段分からない学校での子供たちの様子がとても分かりやすく書いてあり、府中小学校が、子供たちのため、校長先生を始め先生方が色々なことに取り組んでいる事が伝わってきます。学校の取組を知ること、継続した取組をしようという思いで我が子に接することができます。」という言葉いただきました。感染症対策のため、学校へ来ていただくことがなかなかできていませんが、学校と同じ思いで子育てをしていこうという保護者の方の気持ちがアンケート結果に表れていることを感じています。

この結果を受けて、さらに保護者や地域の皆様に信頼されるよう全教職員で教育の質の向上を目指し、取り組んでいきます。学校評価アンケートへご協力いただき、ありがとうございました。

ある朝の出来事～PTA新聞を読んで～

令和3年度のPTA新聞が児童に配付された日の翌日のこと、4年生の児童が大事そうにPTA新聞を手に登校してきました。「どうしてPTA新聞を手を持っているの。」と尋ねると、「気に入っているの。校長先生やPTA会長さんが学校やPTAの目標のようなことを書いてくださっていたので読みなおして自分の目標の参考にしています。」という答えでした。校内の教職員や取組がよく分かるところもお気に入りだそうです。PTA新聞がこんなにも子供の心や行動に素敵な影響を与えているのかと嬉しく思った出来事でした。



8月の行事予定・下校時刻予定表

府 中 小 学 校
校 長 竹 下 比 登 美

日	曜	行事予定	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	日							
2	月							
3	火							
4	水							
5	木							
6	金							
7	土							
8	日	山の日						
9	月	振替休日 夏季一斉閉庁						
10	火	夏季一斉閉庁						
11	水	夏季一斉閉庁						
12	木	夏季一斉閉庁						
13	金	夏季一斉閉庁						
14	土	夏季一斉閉庁						
15	日	夏季一斉閉庁						
16	月	夏季一斉閉庁						
17	火							
18	水							
19	木							
20	金							
21	土							
22	日							
23	月							
24	火							
25	水	授業日	13:50	13:50	13:50	13:50	13:50	13:50
26	木	授業日	13:50	13:50	13:50	13:50	13:50	13:50
27	金	授業日	13:50	13:50	13:50	13:50	13:50	13:50
28	土							
29	日							
30	月							
31	火	夏季休業終						

※ 下校時刻は、学校出発時刻です。行事等で多少、下校時刻が異なることもあります。
 下校時刻が大幅に変更になった場合は、緊急メールやあらかじめ通信等でお知らせいたします。
 ※ 行事の関係でこれより遅くなることがあります。

【お知らせ】夏季休業中学校閉庁について

8月9日（月）～8月16日（月）は町内の学校を施錠し完全に閉庁します。事故やコロナウイルス感染症に係るご連絡がある場合は、土日を除く8時30分～17時15分に府中町教育委員会学校教育課（082-286-3271）へお電話ください。